

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop) 第9回総会 議事録

1. 日 時

2020年6月20日(土) 15:00-16:30 (入室 14:40-14:55)

2. 場 所

オンライン総会

3. 議長選出

議長に東 尚子広報担当を選任した。

4. 議事録作成・議事録署名人選任

議事録作成：私市慎治

議事録署名人1：私市慎治

議事録署名人2：岩崎眞澄

5. 出席者確認：出席者16名、委任状出席11名

正会員総数：41名(2020.5.31現在)

正会員出席者数：27名(内、委任状出席 11名)で、東議長が総会の成立を宣言した。

6. 出席役員

代表：渡辺 孝彦、広報役員：東 尚子

役員：村上 幸、私市慎治、長崎 羊子

監事：平野香誉子、矢島 國紀 (監事は総会の議決権はなし)

7. 議事(および審議結果)

<第1号議案> 2019年度活動報告・会計実績／審議 [報告：渡辺]

・2019年度活動実績、2019年度会計実績

・2019年度監事報告(事業監査・会計監査) [報告：平野]

渡辺代表が総会資料に基づき2019年度の活動実績ならびに収支会計実績を報告した。
次に、平野監事が会計監査および事業監査を実施して、問題ないことを報告した。

【質疑1】《事業5》災害復旧支援について

昨年度は、台風15・19号など大規模災害が多くの箇所が発生したが、kfopの被災地復興支援活動の実績について確認したい。

【応答1】(渡辺代表)

質問のあった被災地復興支援活動の活動実績について、以下に報告した。

①台風災害情報の発信を行った。

- ②台風 19 号かながわ災害支援者連絡会へ参加した。
- ③kfop 主催で「台風 19 号」現地支援活動を 3 回（南相馬市社協、本宮市社協、いわき市社協）実施した。
- ④現地訪問の中で、各社協（いわき市、南相馬市、相馬市、本宮市、郡山日市）へ土嚢袋寄贈と相馬への水寄贈を行った。
- ⑤NPO 法人かながわ 311 ネットワーク、かながわ災害ボランティアバスチームのボランティアバス運行へ広報協力を行った。
- ⑥当団体で、バス便を出すことはできなかった。次年度以降へ対応の強化（災害復旧支援）を図る。

【審議】

午後 3 時 20 分 第 1 号議案は賛成多数（賛成 14／否認 0／保留 0）で承認された。

<第 2 号議案> 2020 年度役員改選案、監事選任案 [報告：渡辺]

- ・2020 年度役員、監事選出（役員、監事の任期は 2020 年度～2021 度の 2 年間）
渡辺代表より、役員選任について現役員の重任案および監事に平野香誉子の重任案、任期満了による矢島國紀の退任が発議された。
また、各事業担当役員と共に事業を推し進めていく「協力スタッフ」について説明し、事業および必要業務に応募あった協力者と必要とする担当業務について報告した。

【質疑】 役員改選、監事改選および事業協力について、特に議論はなかった。

【審議】

午後 3 時 23 分 第 2 号議案は賛成多数（賛成 14／否認 0／保留 0）で承認された

<第 3 号議案> 2020 年度活動計画・予算計画／審議 [報告：渡辺]

- ・2020 年度活動計画、2020 年度予算計画
渡辺代表より 2020 年度活動計画案、予算計画案について報告があった。
策定時には想定されていなかった新型コロナウイルスの影響により活動計画の変更も余儀なくされてくる旨の説明があった。

【質疑 1】 《事業 1》 現地活動について

議題にはないが、新年度事業計画及び新年度予算を見ても新型コロナウイルス対策の記載がないので、新型コロナウイルス関連で質問する。新年度事業はもう始まっているが、現在、自制せざるを得ない状況にある。6 月までは、現地活動は中止であるが、その先も、まだ、先が見えない状況にあると考える。これから、現地活動をどのように進めて行くか、スタッフミーティングでの意見や、代表の考えを、参考までに、聞かせていただければと思う。

【応答 1】（渡辺代表）

- ①当団体の新型コロナウイルス対策と対応、緊急事態宣言解除後の行動指針を説明した。（既にホームページ掲載済）

- ②また、発災時の活動については、JVOAD（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）がまとめた「災害対応ガイドライン」を参考にしていくことを説明した。
- ③現地活動について、現時点では、2020年8月末まで抑制する。
- ④現地活動の様子、活動紹介を行う。発信して会員に状況を伝える活動をする。
- ⑤現地集合・解散による活動も考慮していく。
- ⑥移動に係る交通費について経費負担の運用を定めて、参加手段を確保いきたい。
- ⑦現地活動が当面できない中でも、たとえば、ソーシャルディスタンスを確保した場で、現地とオンライン接続して、会員が参加できるような場を設けたい。
- ⑧今できることとして、オンラインでの手段も活用して現地との関係を維持し、福島の復興応援につなげる。

【質疑2】 総会資料13ページの《事業2》連携活動

「みなかわ」連携を担当するとなっているのは「みんな」ではないか。

【応答2】（渡辺代表）

渡辺代表より「みんな」に訂正。

【審議】

午後3時45分 第3号議案は賛成多数（賛成14／否認0／保留0）で承認された。

8. 閉会

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後3時45分に閉会を宣言した。

参考（意見交換）

総会終了後、出席正会員と意見交換会を持った。議案への意見は議事録のとおり。

災害復旧支援《事業5》への意見については、第1号議案にて、現地活動《事業1》についての意見は、第3号議案にてそれぞれ報告させていただきました。

発言W：これから意見交換をしていきたいと思いますが、ご発言をお願いします。

意見I：今後の活動をどの様にしていくのか。

現地に行くことを目的にしているが、現地活動が出来ない状況で如何するのかを考えていく必要がある。

現地活動が出来ない状況下で、オンラインに参加できない方達のモチベーションを維持させることが出来るかをもう少し具体的に話して行けば良いのではないか。

発言W：オンラインで参加できない方々の為にソーシャルディスタンスを保ち、県内で集まっての情報共有の場を持つ。現地とオンラインでコミュニケーションを取るなどを考えている。

また、団体で行くのは現時点では難しいので、個人参加の形で行っていただくことも検討していく必要がある。

発言 A : 4~5 人でも同じ車で行くことはまだ難しいが、全く現地に行ってはダメということではないので、出来るだけ現地のイベント情報などを流していこうと思っている。

発言 W : 団体として「行ってください。」とは言えないが、活動の情報を提供し行ってもらえれば良いと思う。

意見 N : 移動制限が解除になったので行ってみようと思っている方も多いと思うが、団体として「来ました。」と言うと活動報告が必要になる。

また、同じ場所に何度も行くのは難しいが、彼方此方に行った時に団体の名前を伝えるのは出来るのではないか。

個人で行く場合も訪問予定を共有して現地集合なども出来るのではないか。

その場合、活動報告は必要になるのか。

発言 W : kfop は団体として現地とのつながりを作っている、個人で行って現地とつながるのは非常に良いことだ。

個人で行った際に報告出来るのであれば「kfop として来ました。」と言っても良いのかなと思う。但し、活動費を使う場合には活動報告が必要と考えてる。

訪問予定を共有するのはプライバシーに注意して出来る人は共有するのも良いのではないか。

発言 N : 報告義務が生じるのは重いので、個人で行った時に会の名前を伝える程度は良いと思う。

発言 W : 会員相互で情報交換していくのは良いと思う。

発言 O : 新聞の特集で震災以降の福島の牛のことなどを掲載しており、復習の為に読んでいる。現地に行くのは秋頃に行ければ良いと思う。

発言 Y : 今はなかなか行くことが出来ないが、出来るだけ早いうちに観光しながら美味しい魚でも食べに行ければと思っている。

発言 M : 以前は観光に行っていたが最近は行けない。去年は川内村のマラソン大会に参加した。

発言 Ta : 宮城県の丸森町に行ったりしているが、福島に特化はしていないので kfop に参加している。また、行っていたしゃべり場も、昨年度で終了とした。

発言 Tn : 新型コロナウイルスの影響で、旅行会社のツアーもキャンセルが多く、行く機会が少ない。

発言 Tz : 最近、なかなか予定が立たず行けないが、自分の都合がつけば草むしり程度なら日帰りでも民泊を利用してでも行ければと思っている。

発言 W : 富岡でも現地でレンタカーを借りられるようになりました。

発言 Iw : 現地のイベントも中止になっている。

去年は、台風被害のあった神奈川県内で個人として活動した。

発言 W: 活動内容によって参加者の安全確保として団体に活動できる、できないがある。
去年の台風被害の土砂崩れ、家屋倒壊箇所は重機を使用したりすることが多く
団体としての活動は難しいと判断した。

発言 K: 新型コロナウイルスの影響により活動も制限されており、今はやれることをやるだけ。また、行ける時に行ってもらえれば良い。

発言 Mr: 現地活動が制限されている中、オンラインでサロンの様なコミュニケーションを図ることが必要。

発言 Y: 協力スタッフに、老体なのに6箇所くらいエントリーしている、それは多忙のなかでも若い人に積極的に活動してもらいたいからである。

報告や情報発信は迅速に行われるべきであるが、氾濫する情報の中で、如何にしたら若い人たちの眼を惹くか、行動への興味を掻き立てるか考えたい。

発言 W: これからも会合（定例会等）への参加をお願いします。

情報提供の内容、量について皆さんは如何思われていますか。情報提供については今後もどうしたら良いのか考えたい。

まだ現地に行けない状況が続くと思うが、適切な情報を提供して繋がっていきたいと思っている。

来年3月には震災から10年となります、これからも皆さんにご協力いただき、若い方の参加も増えるようにしていきたいと思えます。

以上、上記議事を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人が電子記名する。

2020年6月20日（土）

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop) 第9回総会

議事録作成者 : 私市 慎治 (電子記名、押印省略)

議事録署名人 : 私市 慎治 (電子記名、押印省略)

議事録署名人 : 岩崎 眞澄 (電子記名、押印省略)

以上